シルバー ところざわ

◆発行 社団法人 所沢市シルバー人材センター広報部会 1998.1月15日発行 No.61

所沢市 新春の朝明け…

謹賀新年

顧問	斎藤博
相談役	高橋義男
理事長	高野英二
副理事長	伊藤政一
〃 兼専務理事	松きのえ
専務理事	矢島力夫
理事	野瑞穂
〃	梶畑允
〃	秋山脩
〃	佐藤善一
〃	澤口富保
〃	細谷昭司
〃	深川隆
〃	鈴木康久
〃	小川京子
〃	小林晟
〃	山下伊和雄
〃	栗原功道
〃	久保仲秀
〃	牧野辰之助
〃	小泉正雄
〃	西窪治
監事	斉藤武司
〃	塚本幸子
他事務職員一同	

新春のご挨拶

理事長　高野英二

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、ご家族お揃いで清々しい新年を迎えられたことと存じ心からお慶び申し上げます。

希望のもてる年であって欲しいと希った平成九年も明るいニュースには乏しく、むしろ年末に至って相次ぐ金融機関の破綻で、景気の低迷は一層その度合を深め、一方政府が目指し、国民が期待する行・財政改革も期待する進展は見られず、その難しさを実感させられて居るところでございます。

しかし、お陰様で当シルバー人材センターでは、平成九年度十一月末現在、事業収入につきましては二億五千万円を超え、前年度同期に比して三千八百万円余の増収という予測を上廻る目覚ましい実績を示し、また会員の増強につきましても八百六十余名に達し、その組入会率(当市六十歳以上人口の当センター会員入会率)も順調な伸びを見ることができました。

これはひとえに、会員・役職員皆様の真剣なご努力と、市当局各機関のご指導ご支援と市内多数事業主・市民の方々のご理解ご協力によるもので、心から厚く感謝申し上げる次第です。

また、就業開拓面では特に昨年十月独自事業として有望なレタリング技術習得の講習会を発足、多数会員が受講、新しい年度の後半には看板・ポップ等受注可能な段階を迎え、以後事業収入の増大と就業率向上に大いに寄与するものと期待されます。

二十一世紀を目前にいたしまして、高齢社会対策等一層深刻の度合を深めて参りますが、その中でシルバー人材センターが果たす役割は益々高まって参ります。

本年は特に当センターも創立二十周年を迎え区切りの年であります。「自主・自立・共働・共助」のセンター理念を再認識され初心にかえり、就業に当たっては健康の保持と安全就業に努められ、事故などに遭わないようくれぐれもご留意下さいまして、広く需要に応じ、信頼に応えて頂きたくお願い申し上げ、新年初頭に当たってのご挨拶といたします。

新年にあたりごあいさつ

副理事長　兼松きのえ

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

輝かしい平成十年の年頭に当たり、会員皆様の御健康と御発展を心からお祝い申し上げます。

当シルバー人材センターは、会員皆様の御理解と御協力を賜り、景気が低迷し足踏み状態の中、好調な業績の伸張をいたしておりますことは、これひとえに理事長はじめ専務・職員・皆様のたゆみない御努力の賜でございまして、衷心よりお喜び申し上げます。

さて、本年は、平成十年当シルバー人材センター設立二十周年と節目の年に当たります。さて、昨年のプロ野球日本シリーズ、ヤクルト対西武の四年ぶり三度目の対決は、ヤクルト四勝一敗と完勝、野村監督が就任して八年目の今季、今まで積み重ねたものが完成されつつあるチームのように感じました。私がこのシリーズで印象に残ったのは、日本一になった時の記者会見で「ひとつひとつの積み重ねが最後には、大きな力となって表れてくる」と述べられたことでした。この言葉は、私たち人生の中で、とても貴重なことだと思います。私たちは、ただ情報に流されたり、漠然とした動機で行動をしてはいないだろうか。野村監督の言葉は、現代人に欠けていることを指摘しておられるように思えました。私は、この言葉を心に刻んで、これからの人生に役立て、精進いたす所存でございます。今後も一層の御協力、御鞭撻をお願いする次第でございます。

年頭に当たり、皆様の御多幸と御健康で、よりよき年でありますよう祈念して、ごあいさつといたします。

今年は寅年 私達の年です……。

千里征って、千里還る寅年会員が五十九名いらっしゃいます。
新年にあたって一言いただきました（敬称略）

①健康状態と健康法
②趣味・特技について

◇◇大正三年生まれ◇◇

◎北川よねい　2・20生
①良好　草むしり・散歩
②特になし

◎関根　寅吉　3・13生
①良好　自転車整理の仕事
②なし

◎川村　ゆき　4・1生
①良好
②特になし

◎内野　福重　1・28生
①良好　散歩
②特になし

◎邑井くみ子　12・25生
①良好　散歩
②特になし

◇◇大正十五年生まれ◇◇

◎並木　治郎　2・28生
①良好　仕事が健康のもと
②絵を書くこと

◎小谷野安次郎　9・19生
①良好　特になし
②機械いじり

◎小田　綾子　5・18生
①眼底出血（通院中）
②ボランティアが好き

◎志村　金蔵　2・25生
①良好　散歩
②絵画・写真・盆栽

◎石川　アキ　8・10生
①良好　体操で一汗
②特になし

◎渡辺　政満　6・1生
①良好　ゴルフ
②ゴルフ

◎砂坪　清　8・20生
①良好　仕事が健康のもと
②特になし

◎酒井　実　2・23生
①良好　特になし
②将棋

◎田辺　ひで　2・12生
①良好　特になし
②読書

◎水田　暈亮　3・20生
①良好　特になし
②絵画

◎関根　貢　5・7生
①良好　特になし
②特になし

◎新井　守　10・1生
①良好　早寝・早起
②カラオケ・釣・囲碁

◎伊藤　昇　8・9生
①良好　毎日散歩
②菊など草花作り

◎西崎　きく　11・24生
①良好　ピクニック
②カラオケ・旅行

◎石川　軒彦　8・31生
①良好　毎日散歩
②将棋

◎伊藤　文雄　8・29生
①良好　毎日一時間位の散歩
②囲碁

◎上野　恵一　8・5生
①良好　ウォーキング
②俳句

◎増田　成麿　5・20生
①良好　くよくよしない
②特になし

◎日下部泰久　10・25生
①狭心症があり無理できない
②パソコン・ワープロ

◎青柳　金造　2・23生
①良好　毎日一時間散歩
②写真、盆栽

◎鹿島　喜一　4・20生
①良好　特になし
②多趣味

◎梅津　紀元　2・11生
①良好　特になし
②和紙細工

◎宮腰美代志　3・23生
①糖尿病（通院中）
②特になし

◎名倉　義雄　10・25生
①腸が悪く通院中　歩くこと
②囲碁・ゲートボール

◎馬場　澄子　11・28生
①甲状線手術（通院中）
②競輪（月一回）

◎花岡　広良　6・19生
①極めて良好　晩酌と散歩
②特になし
◎野村虎之助　1・1生
①良好　食べ過ぎに注意
②絵画・書道
◎中村　是明　11・10生
①良好　忙しく仕事
②ゴルフ
◎檀原　重三　4・10生
①良好　努めて散歩
②旅行
◎佐々木恵美子　8・7生
①腰痛治療中
②民謡・カラオケ
◎柵橋　五郎　10・3生
①関節炎治療中
②カラオケ
◎渡辺　かつ　4・8生
①良好　特になし
②手芸
◎伊藤　孝子　7・25生
①良好　体を動かすこと
②日本舞踊
◎坪井　昇　5・15生
①極めて良好　特になし
②働くこと
◎別所福次郎　12・9生
①良好　特になし
②特になし
◎高鳥　すい　11・21生
①良好
時折旅行でリラックス
②働くこと

◎八田　儀輔　1・1生
①極めて良好　早朝体操
②読書
◎水落　光江　9・5生
①良好　散歩
②読書
◎岡　恭久　8・7生
①良好　ボーリング・ゴルフ
②写真・書道
◎海藤　告　8・27生
①不整脈治療中　食事療法
②読書
◎中山　初枝　1・11生
①腱鞘炎治療中　ジョギング
②書道・水墨画
◎肥沼　龍介　10・11生
①良好　食べ過ぎ注意
②読書
◎平塚　一雄　2・24生
①良好　犬と散歩
②旅行
◎柳澤　昌平　12・11生
①良好　腹八分目
②特になし
◎三上つや子　8・25生
①良好　規律のある生活
②カラオケ
◎早川　義郎　8・31生
①良好　気持ちを若く
②民謡・将棋・ダンス
◎松沢豊太郎　2・15生
①良好　努めて体を動かす
②特になし
◎坂井弥五郎　8・20生
①良好　ウォーキング
②カラオケ・旅行・釣
◎渡邊　忠　11・15生
①良好・毎日散歩
②ゴルフ

◇◇昭和十三年生まれ◇◇
◎小林　利子　1・23生
①良好　散歩
②特になし
◎木下　英美　7・5生
①良好　歩くことに努める
②囲碁・カラオケ・音楽鑑賞
◎大塚　憲正　2・7生
①良好　くよくよしない
②家庭菜園
◎井上　和子　7・17生
①良好　体力増進
②卓球・ゴルフ・カラオケ
◎小沢十三子　4・15生
①良好　努めて運動
②インディアカ・ピクニック

＝知っておきたい　からだの数字＝

●血圧はデリケート

心臓をポンプ、血管をホースとみなすと、血圧はポンプを動かした時の水圧と考えることができます。

からだに関する数値の中でも血圧はひときわデリケート。運動や入浴、飲酒、ストレスなどにより、瞬間的に三〇～五〇くらい変化するのは珍しいことではありません。また、病院ではかると緊張のために高くなるのが普通です。最近は、便利な電子血圧計も市販されています。日常的な血圧の変化を知っておくために家庭で血圧を測定できるようにしておくとよいでしょう。

血圧は、年齢・性・体格などにより個人差があり、しかも様々な条件によって変わります。少しぐらいの変化に一喜一憂しても仕方ありません。しかし、正常値を一応の目安にして、日中の安静時の最小血圧が常に九五か最大が常に一六〇を越えるような場合にはお医者さんに相談して下さい。

一感、一汗（六回目の寅年）

新所沢地区　水田量亮

「新しい年」幾回となく繰り返し迎えたことであるが、この年になっても新鮮に響き、今年も頑張らなければと、新たな勇気を掻きたててくれます。

ところで、私は退職後のことは深く考えていませんでしたが、その場になってみると心に隙間ができ、空しい日々を送っていました。

ふとしたことからシルバー人材センターのことを知り早速入会し、公民館の清掃を紹介され就業しました。幸い、職員の方たちの温かい対応に助けられ八年目を迎えました。社会の一員として役立つ自覚と、働く喜びを感じながら今日に至っています。

さて、表題に「一感、一汗」と書きました。人はそれぞれに何らかの人生観を持って生きています。私は、一日一つは感動を一日一回は汗を流すと言うことをモットーにしています。桜の満開、錦絵のような紅葉、大自然の絶景等々万人が等しく感動を覚えます。このような特別な場もさることながら、ごく身近な日常生活の中にも感動を覚えることが数多くあります。

公民館で仕事をしている時、利用者の人が「ご苦労さまです。」帰りに「お世話になりました。」の一声にもその人の人格に心を打たれます。トイレや研修室の朝掃除を終え、利用者が気持ちよく使用できると思うと心のどこかに喜びを感じます。人との出逢い、ドラマの一こま、本の一頁、一枚の絵、孫のしぐさ等々、ただ漫然と見過ごすのでなく強く心に感じるものを胸に受けとめてみることです。一日の終わりに今日は、こんな良いことがあった。こんな素晴らしいことに出合った等々……。これは明日の活力へと繋がります。

汗を流した後の爽快感、心も体も本当に気持ちの良いものです。仕事をし終えた後の汗はまた格別です。汗の出ないまでも体を動かすことは、汗を流すことに通じます。

「一感、一汗」感動と汗、何か一日が充実した日であったように思えてなりません。

因に、私は趣味に油絵を描いていますが、やはり感動を覚えたモチーフには筆に一段と力が入ります。センターの作品展も楽しみです。

今年は寅年、寅の威は借りないまでも寅のように力強く歩み、センターの一員としての自覚をもって頑張りたいと思います。

終わりに、センターの益々の発展と、共に働いている皆様の御活躍を祈念いたします。

第三回埼玉県高齢者交通安全運転大会に、当センター会員二名参加

＝第三位並びに第五位にそれぞれ入賞＝

去る平成九年九月二十八日㈰、第三回埼玉県高齢者（六十歳以上）交通安全運転大会が、県運転免許センターで県下各市町村から選ばれた五十名が参加開催されました。

当センターから我孫子勇助さん、宮野輝雄さんの両会員が所沢警察署からの要請で参加され、我孫子さんが第三位に、宮野さんが第五位にそれぞれ入賞受賞されました。

意外な受賞（高齢者の手本に）

山口地区　我孫子　勇助

センターの山川次長さんから「所沢警察署より是非シルバー会員の中から二名推薦して欲しいとの要請があったので参加して下さい」との連絡を受け、「私には自信がないので無理です」と固辞しましたが、「結果は二の次で参加することに意義があるのだから、軽い気持ちで是非」と薦められ、宮野さんと二人で決意し参加しました。

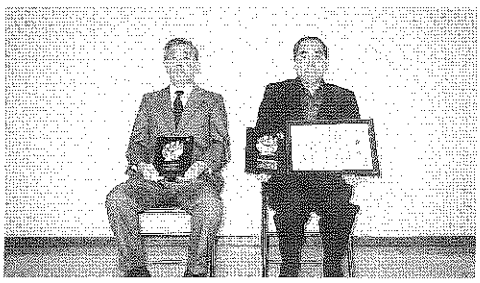
競技当日、運転免許センターに参りますと、県下各市町村から五十名が参加、先ず圧倒されました。参加者の中には熱心に事前にコースをチェックしたり、歩いてみたり、コース事情を確認するなど、真剣で熱のこもった雰囲気の中で開会となりました。皆高齢者とは思えない程若々しく、テキパキと競技する様子に驚かされました。中で

も自転車競技では、足・腰がしっかりして上手な人ばかりで特にびっくりしました。さすが昔とった杵柄と感心しました。

そんな中で予想もしなかった第三位に選ばれ意外な受賞に感謝の気持ちが一杯になりました。私にとって一生の思い出となる嬉しい事柄となりました。

これからは、この受賞を支えに高齢者の方々の手本になれるよう、交通安全は勿論、健康面においても充分留意して頑張って行きたいと思っております。

今後ともよろしくお願いいたします。



受賞のお二人（向かって右我孫子、左宮野）両会員

楽しくまきる一ページ

新所沢地区　宮野輝雄

平成九年九月二十八日㈰、所沢市シルバー人材センターから二名の中の一人として、第三回埼玉県高齢者安全運転大会に参加、鴻巣市県運転免許センターでの競技会に加わらせて頂きました。

競技会種目は、㈠交通法規㈡四輪車運転競技㈢自転車乗りの三種での競技でした。

県下市町村から五十名もの参加者の中で、思いも寄らない第五位に入賞、立派な入賞楯を授与され感激いたしました。

慢性化していた交通ルール（法規）の遵守の重要性を再認識するなど意義ある大会への参加でした。

これから第二の人生を歩むこととなりますが、意欲を燃やして楽しく生きる一ページとなりました。ありがとうございました。

＝センター大いにPR＝

ある日のフェスティバル

婦人部長　石田静子

十月二十五・二十六日の市民フェスティバルの日は快晴に恵まれました。今年のシルバーは南の道路沿い、しかも角地に店開きをしました。「たくさん人出がありそう……。」私たちの期待どおりにテーブルに置かれた千代紙張りの六角の箱は、たちまち五個も売れていきました。婦人部では昨年末から各地区毎に話し合いをして作ってきた小袋・手さげ袋・造花その他三十余種類、千六百六十一点も集まっております。これは、就労の方々の寸暇を惜しまないご努力と、在宅の方々のご精進の賜物なのです。

「ここに置いてあった、胸からこうかけるエプロンあるかしら。きのう買ったんだけれど……。もう一枚ほしいの。」と、寄って下さった方もあったりして、思わず「ありがとうございます。」と、言葉が口から出てきました。秋山実行委員長の芒のみみずくは、こんな会話を聞きながら大きな目をして人の流れをみています。この隣におどけた顔のヤジロベエーを指にのせてみる人もあります。

活躍中の婦人部会員皆さん

少し離れて開業した沢田さんは、手描きの色紙・短冊が並べられた中で秋の陽ざしを浴びて座っておられました。

年毎に発表していく所沢市と共に、フェスティバルには多彩な出品物が集まっております。道行く人は足を止め、私たちも多くの方々とお話をする機会が得られました。

こうしてペンを取りながら、沢口さんの書かれた黒々とした『シルバー人材センター』の文字にひかれて「ご苦労さま。」と、声をかけに寄ってくださった会員の方々の笑顔を思い出しております。

㈳日高市シルバー人材センター
総勢五十六名、当センターに研修来訪!!

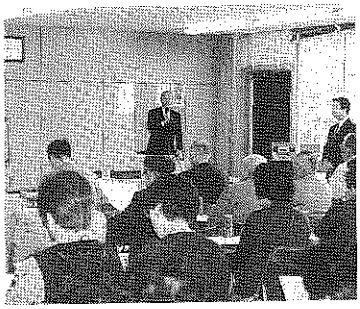
紅葉が日毎に増す十月二十九日㈬午前九時、総勢五十六名の会員・役職員の方々が、千葉方面への研修出張の途次観光バス二台で当センターに来訪された。

旧市庁舎四階の会議室にご案内、予め用意した資料に基づき、主として当センターの事業概要並びに会員安全就業確保活動について概略説明参考に供した。

日高市シルバー人材センターは、平成八年に社団法人に移行認可された新進センターで、今後各方面センターを研修訪問され、発展の基礎を固める段階にある発展途上センターとの自己紹介がなされた。

日高市センター小峰局長の司会で先ず、大河原日高市副理事長の来訪主旨挨拶に引続き当センター矢島専務理事より歓迎のことば、そして小川次長より資料をもとに所沢市の地歴等概要、センターの運営、事業実績・就業内容等について概略説明、引続き設楽安全就業推進員より、安全就業推進委員会の構成・運営並びに主たる年間活動計画内容、会員の就業に伴う事故の発生状況について説明、質疑時間を設け熱心な質疑をお受けして予定の研修を終える。

最後に日高市西村理事さんより短時間の訪問研修ではあったが、今後運営の参考とさせて頂き発展を期して参りたいと過分の謝辞をいただき、慌ただしい一時間余の来訪を終え、次の目的地へ向け出発された。



挨拶される西村理事さん

職場めぐり
こんな仕事こんな職場

毎朝駅に乗りつけて来るおびただしい数の自転車。ここ新所沢の駅前だけで、その数なんと三千台余！　放っといたら、たちまち歩く場所もなくなってしまいます。後から後から乗りつけて来る自転車を黙々と五人のシルバーが並べかえ整頓してゆきます。一巡するとまた始めから繰り返し。

―分担地域を決めて不公平のないように順繰りにしていますが、多い人だと一人で七百台を持つわけです。勤務は月～金の二時間だけ（雨の日は休み）ですが、結構重労働ですよ。放置自転車ですか？　毎月目印を付けて調べるんですが、二十日たっても置きっぱなしのが毎回約百台。これは三カ月に一度整理します。パンクしてるのもありますが、まだ使える立派な自転車ですよ。何が原因かって？

パンクしただけですぐ捨てるのか、あるいは盗難車。返しとけばいいんだと勝手に人のを乗っていく。これはもう持ち主に戻りませんよ。置場所が変わったらこんな沢山の中じゃ判らない。電話番号が書いてあると掛けてあげるんですけどねえ。

掃除もしているので、暑いとき寒いとき、それに落葉の季節も大変だろうなと思った次第です。

（藤原）

新所沢駅前で整理に当たる会員

短歌

三ケ島地区　滝沢　マサ

白色を好みて植えし夾竹桃花見ず逝きし祖母に手向けて

子育ての頃思いつつお手玉を縫いて待ちおり明日来る孫を

幼き日兄と食みたる荔枝の実懐かしみつつ苗を買い来ぬ

＝地区委員・役職員県外研修＝

仙台市シルバー人材センター研修訪問記

新所沢地区　五社重雄

去る十一月十三・十四日両日に亘り、平成九年度、当センター正副地区委員並びに役・職員合同の県外研修が総勢四十四名参加のもと、仙台市シルバー人材センター訪問で行われ参加いたしました。

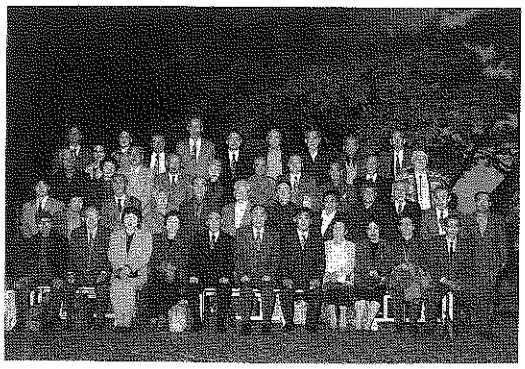
ご存じの通り仙台市は人口略百万の「政令指定都市」で東北地方随一の雄都であり、シルバー人材センターは昭和五十五年十二月に、会員三二一名、同年受託件数一二六件、契約金額四六一万円でスタート。現在では北部地区センターと併せ、二事務局制となっており、総会員数一、一四四名、平成八年度の事業実績では、受託件数八、三八一件、契約金額三億四千万と雄都に相応しい形態と実績。

予定の十三時三十分にセンターに到着、予め準備された会議室に千葉事務局次長、中島業務主任のお出迎えを頂き（残念ながら理事長、事務局長は急遽ご出張のため不在）先ず当方高野理事長の訪問謝辞、続いて千葉事務局次長の歓迎のご挨拶と、エール交換のあと、既に配布された研修資料を参考に早速質疑、応答に入りました。

同センターの受注比率を見ますと、民間企業からの受注が七一・四％と圧倒的に高く、続いて一般家庭の十八・一％、独自事業〇・四％で、公共関係は十・一％に止っております。

その点に就いては公共団体が細分化された上、外部団体が多く、受注が困難になっているとの由にて、就業開拓についてのご苦労の程が偲ばれました。また多少意外に思われたのは、これだけの大都市のシルバー人材センターで家事援助サービスが作動していない点でした。別の団体があり無理とのことで納得しました。

この度の訪問でお互いに持つ問題点が抽出され、これ等を参考に今後相互に情報交換等が行われ、更なる進展を遂げて参りたいと強く感じました。



青葉城趾公園内にて

「杜の都」を訪れて

新所沢東地区　三橋　正一

県外視察研修に参加し、「仙台市シルバー人材センター」を訪れた私は、四十数年ぶりに観た初冬の「杜の都」仙台の様変りに一驚した。路面電車は姿を消し、地下鉄がそれにとって替っていたのだった。しかし、欅並木と銀杏並木は昔のままであった。

花京院通りにある仙台市シルバー人材センターは、六階建の堂々たるビル、そのく階に「仙台市シルバー人材センター」がある。

そのビルの中には、サウナ、プールをはじめ種々の福祉健康施設が完備し、さすが政令指定都市の施設だけのことはあって素晴しいの一語につきる。

約一時間の視察並びに研修を終えた私達のバスは、暮れなずむ山間の道を、今宵の宿「秋保の郷」へと向かった。

俳句

吾妻地区　渕江　悌次

萩ゆれて庭に園児の声走る
ベランダの手摺りを確と花火観る
忙しくても健康診断九月尽
芒道散らす鴉のごみぶくろ
日蓮の苦行の旭土用波
土用風受けて頼朝かくれあな
宿下駄に砂の貝殻土用波
遮断機の長きに香を呼ぶ金木犀
優しさに南瓜フェンス花ざかり
篠の先草払いつつきのこ狩り

＝安全委員会だより＝

高齢者の健康管理をテーマに研修会開催!!

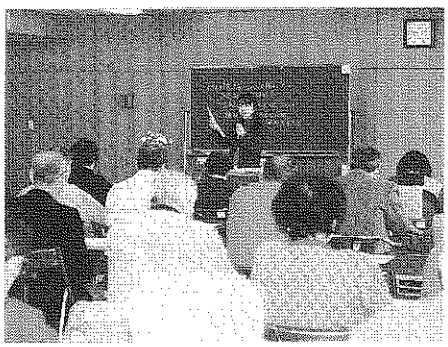
平成九年の師走も半ばの十二月十五日(月)、当年度第二回目会員安全就業研修会が、所沢市健康福祉部保健婦の松本加代子先生を講師にお迎えし「高齢者の健康管理」を主題とする講話と、どこが危ない？「高齢者のための交通安全診断」のビデオ観賞をセットに、旧市役所庁舎四階の大会議室を会場に開催された。

師走の気忙しい時季の開催で、聴講される会員が少なくなるのではないかと懸念されたが、そんな心配は無用、会場略満員の六十余名が参加好評且つ有意義に終了することができた。

研修会は長野安全委員長の開会のことば、矢島専務理事の挨拶を経て主題の松本先生の講話に入る。

先生の講話は非常に平易に、然しポイントをよくつかみ実生活に即したお話しで、例えば脳卒中の防止、食事の四大要素(高たんぱく、十分なカルシウムの摂取、少ない塩分、低脂肪食)また健康体重の測定（健康体重＝身長(m)×身長(m)×二二)、適正血中脂質（コレステロール）の見方など極めて身近で有効な講話でした。ビデオも微細にわたった交通安全確保指導の内容で同じく好評でした。

今後共かかる研修会には、自身のため率先しより多くの会員に是非参加して頂きたいと強く感じた。



講話中の松本加代子先生

随筆

〃昔の子供・これからの子供〃

富岡地区　梶畑　允

齢七十余歳、子供の頃、小学校の入学祝いに両親から買ってもらった筆入れの中には、鉛筆、消しゴムに小刀（肥後ナイフ）が入っていた。

今の子供達のお祝いは何を買ってもらうのだろう。高価な洋服に立派なランドセル、カバンかな。

昔は鉛筆、消しゴム、小刀は学習には欠かせない三品だったと思う。小刀を通じ刃物の使い方、手入れ等々学校教育の場で先生や友達から、また家庭で両親からごく自然の姿で習ったものです。そんな自然な生活はほんとうに幸せだったと思う。

私の孫の友達の筆入れには鉛筆とは全く変わらないボールペン。小刀も、消しゴムも不必要の学習用具になったようです。

昔、小学校も高学年になれば、家庭の大工道具を持ち寄って、いろいろの遊び用具を餓鬼大将を中心に「アアでもない」「こうでもない」と工夫しながら、アイデアを出し合って手作りの玩具の完成を夜遅くまで、皆んなで楽しく遊び、遊び過ぎて両親から怒られたことをまだ鮮明に覚えている。

手作りの玩具は壊れても捨て難く修理を繰り返しながら、工夫しながら、時には仲間同志喧嘩をしながら大きく成長した。

今の子供の大半は学校から帰ると学習塾通い、餓鬼大将を中心とした遊びは見られない。

日当りの良い児童公園には母親に連れられた幼児の集団と、友達持たない一人ぼっちで遊ぶ淋しい子供。学習塾に通わなければ友達ができない仲間外れの子供社会。この子供達が明日の日本を背負うのですが、私共の歩み続けてきた時代と、この子供達の歩み続けるであろうこれからの日本の社会は随分変わることとなるでしょう。物の豊かさ、心の豊かさ、何れが子供にとって幸せか。そんなことをふと思い綴ってみた。

お知らせ

◎料理講習会の開催について

食材に含まれている栄養素や食品の取り合わせのことなど、「我が家の健康食」と題して左記により講習会を開催いたします。

料理や健康について興味をお持ちの方は非ご参加下さい。

一、日時　平成十年二月十五日
○午前の部　十時～十二時二十名
○午後の部　一時～三時二十名
一、会費　無料
一、場所　コンセールタワー二階　調理室
一、講師　所沢市役所栄養士　井上先生

申し込みはセンター事務局で受け付けます。収容人員の関係上同じ内容で、午前・午後二回行います。どちらに参加されるかご指定下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。

◎清掃奉仕作業参加ご案内

本年も左記により、当センターPRの一環として清掃奉仕作業を実施いたします。

繰り合わせご参加下さいますようご案内いたします。

記

一、日時　平成十年三月九日（月）午前八時三十分集合、九時作業開始
一、場所　所沢航空公園駅前広場
一、内容　所沢市役所周辺道路その他清掃奉仕
一、その他
○清掃用具等センター用意

◎参加希望者は二月末までに事務局へお申し出下さい。（電話にて可）

＝安全委員会報告＝ 悲しい重篤事故（死亡）発生!!

平成三年以降発生を見なかった当センターの重篤事故が、去る平成九年十一月十九日（水）十五時十分頃東所沢和田地内県道信号機のない交差点で発生いたしました。情況は当日の就業を終えた男性会員（六十八歳）がバイク（スクーター）で帰宅途中、当該交差点を横断しようとし左方より疾走してきた乗用車（バン）と出逢い頭に衝突転倒、救急車で防衛医大病院に搬送されましたが、脳挫傷で略即死の状態であったとのことです。皮肉にも当日、故人の誕生日に生命を失うこととなりました。

種々の悪条件が重なって事故というのは起こるものですが、本件事故で残念に思えるのは信号機のある交差点を敢えて避け信号機のない然も見通しの悪い脇道へそれた交差点を横断しようとされたのかということです。

歩く時、自転車の時、車を運転する時も道路の横断に当たっては、多少遠回りになっても是非信号機のある交差点を信号機に従って横断してもらいたいことです。

「急がば廻れ」の古語がありますが、是非守って頂きたいと思います。

事故はあらゆるところに潜んでおります。

安全確保がすべてに優先することを再確認され、再度このような悲しい報告をしなければならいことのないよう万全を期して頂きたいと思います。

安全確保の最終チェック者は自分自身です。

“これくらい思う「油断」が事故のもと”

平成八年度安全就業標語入選作（佳作）
富岡地区　杉浦寿平さん作品

あとがき

会員の皆さん「シルバーところざわ」60号を読んで頂けましたか。私共編集委員、頭をしぼりながら、皆さんの気に入った広報を作りたいと力を入れています。

シリーズ「職場めぐり」を今後共長く続けたいと思っています。「私達こんな仕事をしています」一口メモで結構です。皆さんの寄稿あっての広報です。その他ご意見・要望等々、どしどし送って下さい。

編集委員亀の如く首を長くして待っています。

今年は当センター設立二十周年目を迎えます。おめでたい年です。盛大な記念式典が行われる予定です。皆んなで祝いましょう。

“若返り応援歌”の二節
我等の人生60から、今日も楽しく歌、踊り80で迎えに来たならば、まだまだ早いと言いなさい。

（梶畑記）